

各種ISO取得をはじめ、多数の経験豊富な有資格者が高品質なサービスを提供

八洲電機グループでは、お客様の多様なニーズにお応えし、高品質なサービスが提供できるよう万全の体制を整えております。ISO14001、ISO9001の取得に加え、各種施工管理技士をはじめとした有資格者が多数在籍しております。

ISO取得状況

環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得しています。



- 登録事業所：八洲電機(株)（本社、エンジニアリングセンター、関西支店、中国支店、岡山支店、東北営業所、千葉営業所、周南営業所、福岡営業所、大分営業所）、八洲ファシリティサービス(株)、八洲産機システム(株)、八洲制御システム(株)、八洲Eテクノロジー(株)、八洲プラント建設(株)

品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得しています。



- 登録事業所：八洲電機(株)
中国インフラ課、西日本エンジニアリング部西
日本技術グループ



- 登録事業所：八洲制御システム(株)
本社、本社工場、関西営業所、関東営業所、
中部事業所、中部事業所 板金工場

有資格者の状況(八洲電機)

資格者		
建築士	1級	1名
技術士	電気・電子部門	2名
電気工事施工管理技士	1級 2級	134名 5名
電気通信工事施工管理技士	1級	9名
建築施工管理技士	1級	7名
土木施工管理技士	1級	12名
管工事施工管理技士	1級 2級	46名 2名
監理技術者	機械器具設置	17名
電気工事士	1種 2種	16名 14名
電気主任技術者	1種 3種	1名 4名
特種電気工事資格者	非常用予備発電装置	13名
自家発電設備専門技術者	据付工事部門	15名
危険物取扱者	甲種 乙種 丙種	2名 19名 2名
消防設備士	甲種 乙種	4名 2名

登録		
一級建築士事務所	許可番号	東京都知事登録第61249号
	登録年月日	2021年12月5日
事業許可関連		
特定建設業	建設業の種類	土木工事業、建築工事業、 とび・土工工事業、屋根工事業、 電気工事業、管工事業、 鋼構造物工事業、ほ装工事業、 塗装工事業、防水工事業、 内装仕上工事業、機械器具設置工事業、 電気通信工事業、水道施設工事業
	許可番号	国土交通大臣許可(特-2) 第5842号
	許可年月日	2020年12月17日
一般建設業	建設業の種類	消防施設工事業
	許可番号	国土交通大臣許可(般-2) 第5842号
	許可年月日	2020年12月17日
電気工事業	通知番号	経済産業大臣通第22001号
	通知年月日	2010年1月13日
高圧ガス販売事業届	届出番号	東京都知事29環改保高第6508号
	届出年月日	2017年6月20日

(2022年4月1日現在)



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を採用しています。



VOC(揮発性有機化合物)などを含む湿し水が不要となる水なし印刷を採用しています。



環境対応型インキである「植物油インキ」を使用しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お問い合わせ先

八洲電機株式会社

〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号 社長室 CSR部 TEL: 03-3507-3233 FAX: 03-3507-3999

<https://www.yashimadenki.co.jp/>



八洲電機グループ

コーポレートレポート
2022

八洲電機株式会社

「地球環境保全」と「持続可能な社会」への
貢献を通じて、
企業としての社会的責任を果たして
まいります。

経営理念

「信・愛・和」

信は、「社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社会に奉仕する会社」

和は、「社会に協力・協調する会社」を表します。

経営ビジョン

クオリティの高いサービスを通じ
お客様とともに価値を創造するベストプランナーとして
環境配慮型社会に貢献する。

代表取締役会長兼社長

太田 明夫

Message

新型コロナウイルスの感染拡大により、罹患された方々に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、感染予防対策に携わる医療従事者等の皆様に、心から感謝いたします。

八洲電機グループでは、強みであるソリューションエンジニアリング力をさらに強化するために、「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術を八洲ブランドとして確立し、付加価値の増大を図るとともに、地球環境保全と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

また、当社グループは、2021年11月にサステナビリティ方針を策定し、「八洲電機グループのSDGs」としての取り組みを開始しました。リスクと機会を抽出して、マテリアリティ（重要課題）の解決をISO14001マネジメントシステムの活用により、SDGsにおけるゴール（目標）を目指します。

さらに、従業員の健康を積極的に支援する健康経営を通じて、組織の活性化や生産性の向上を図り、「働きやすい、働きがいのある会社」を目指してまいります。

当社は、2022年4月から東証プライム市場に移行しました。ニューノーマルへの対応やカーボンニュートラルに向けた取り組みの加速など、会社を取巻く外部環境の大転換期をビジネスチャンスとして捉え、迅速かつ適切に対応してまいります。

これからも、当社グループは事業活動を通じた社会への貢献をはじめ、環境技術分野における研究開発支援、地域貢献活動、ボランティア活動等の持続可能な社会の構築に向けた活動を推進してまいります。

CONTENTS

01	イントロダクション	09	ビジネススタイル	19	コーポレート・ガバナンス
02	トップメッセージ	11	事業概要	21	人財の取組み
03	76年のあゆみ	12	中期経営計画	23	健康経営の取組み
05	マテリアリティ（重要課題）	13	主要グループ会社紹介	25	環境活動報告
07	八洲ブランド ～3コア技術～	15	事業紹介	裏表紙	八洲電機グループの体制

八洲電機76年のあゆみ

八洲電機は1946年に創業し、2021年8月に創立75周年を迎えました。当社グループは、「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術で、付加価値の増大を図るとともに、地球環境保全と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

1946年
八洲電機商会創立（神田須田町）



創業の地・神田須田町の八洲電機商会

1947年
株式会社八洲電機商会となる

1956年
本社を港区芝田村町（現 港区新橋）に移転



移転当時の本社ビル

1960年
社名を八洲電機株式会社に改める



特約店看板

1962年
中国連絡所（現 岡山支店）開設
旧本社ビル完成



竣工後間もない八洲ビル（港区新橋）

1963年
広島事務所（現 中国支店）開設

1968年
徳山出張所（現 周南営業所）開設

1970年
大阪連絡所（現 関西支店）開設

1975年
千葉連絡所（現 千葉営業所）開設
水島出張所（現 倉敷営業所）開設

1976年
八洲電機サービス株式会社設立
（現 八洲ファシリティサービス株式会社）

1984年
堺連絡所（現 堺営業所）開設

1988年
株式会社中国パワーシステム設立

1996年
創立50周年を迎える

2000年代グローバル経済の影響を受け、好不況の波が激しくなる中、「電機商社」から「電機技術商社」へと転身を図り、収益力の強化を図りました。

2001年
ISO14001認証取得
創立55周年を迎える



環境マネジメントシステム登録証

2004年
日立特約店の
大成電機株式会社と
合併

2006年
創立60周年を迎える

2008年リーマンショックにより、日本の景気も低迷し、不透明な状態が長く続いていましたが、「ソリューションエンジニアリング」への転換を図ってきました。

2009年
東京証券取引所市場第二部に上場



「株式上場」の実現で成長企業へ

2011年
東京証券取引所市場第一部に上場



第一部上場時に掲載した広告（日本経済新聞）

創立65周年を迎える
幸栄電機株式会社を子会社化
（現 八洲制御システム株式会社）

2012年
九州営業所（現 福岡営業所）開設
東北営業所開設

厳しい経済環境の中、2009年に東証市場第二部へ上場し、2011年に東証市場第一部指定となりました。2013年に就任した太田明夫社長は、第14次中期経営計画のビジョンを「付加価値の高い環境技術・サービスを提供し続けるエンジニアリング会社を目指し、お客様とともに未来を創る」としました。

2020年度～2024年度で中期経営計画を策定し、グループ一体でさらなる成長戦略を推進していますが、2020、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動が停滞し、案件の先送りなどにより事業運営に影響がありました。八洲電機グループは、3つのコア技術の強みを活かしたソリューションエンジニアリング力で収益力の強化を図り、2024年度最終目標値「連結経常利益35億円」の達成を目指します。

2016年
新本社ビル完成
創立70周年を迎える
大分事業所（現 大分営業所）開設



新本社ビル 全景

2017年
産業電機機器事業を分社化
（現 八洲産機システム株式会社設立）
エンジニアリングセンターを
荒川区東日暮里に開設

2018年
空調・冷凍・冷蔵事業を分社化
（八洲環境エンジニアリング株式会社設立）
株式会社三陽プラント建設を子会社化
（現 八洲プラント建設株式会社）

2019年
情報・通信事業を分社化
（八洲情報システム株式会社設立）
株式会社西日本パワーシステム設立
エンジニアリングセンターを港区芝に移転

2021年
創立75周年を迎える

2022年
八洲環境エンジニアリング株式会社を
存続会社として八洲情報システム
株式会社と合併し、八洲Eテクノロジー
株式会社へ商号変更
東京証券取引所プライム市場に移行



新市場区分移行記念盾

創業から2000年まで

高度成長期を支え事業を多角化

2001年から現在

ソリューションエンジニアリング力で環境配慮型社会に貢献

八洲電機グループのマテリアリティ

八洲電機グループは、設定した7つのマテリアリティ（重要課題）解決のために環境マネジメントシステムを活用し、SDGsにおけるゴール（目標）を目指してまいります。



八洲電機グループの取組み

マテリアリティ （重要課題）



働きやすい環境づくりと社員の健康を促進



価値創造を支える人財育成



ダイバーシティの推進



環境に配慮した事業推進



個人の尊重



最適なソリューション提供による豊かな暮らしへの貢献



地域社会への貢献



環境マネジメントシステムを活用

取組み

● 健康経営の推進 ● 従業員の心と体の健康を守る。 ● 運動機会の促進



● 人財開発のために教育制度を確立 ● 人権研修の実施 ● 専門教育の実施



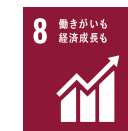
● 働きやすい環境づくり ● ダイバーシティへの理解を深めるために各種研修を実施
● 教育体系整備



● 各種省エネ提案・省エネ製品の販売等 ● 再生可能エネルギー設備の市場供給
● 省エネルギーの推進



● 働き方改革の推進 ● シニア人財（定年再雇用）の活躍推進
● スキルアップにつながる資格取得推進



● プラント安全安定操業支援及び省人化貢献
● スマートファクトリー関連設備の市場供給
● プラント設備の省エネルギー化、高効率化に貢献



● 安全、安心、快適な暮らしを実現する社会インフラ整備・構築に貢献
● 受変電設備の定期点検～老朽化更新
● 強靱化対応（災害時の非常用発電設備等による電源の確保、感染症拡大防止等）



持続可能な開発目標 (SDGs) とは

2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを理念に、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルなものであります。



安全と安心をソリューションで提供する 八洲電機グループのコア技術

八洲電機グループは、「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術で、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供し、『地球環境保全』と『持続可能な社会』の実現に貢献してまいります。

電機制御システム



鉄鋼・石油・化学・エネルギー等様々な分野のプラント構築に最先端の技術でお応えします。

事業内容

鉄鋼プラントを中心にファクトリーオートメーションを展開しております。製品自動搬送システム、無線遠方監視システム、水処理設備等、幅広く使用されているPLC※を活用し、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供します。付加価値の高い提案型エンジニアリングで、お客様の生産性向上に貢献します。

また、安全の確保が厳しく求められる製造現場において、安全PLCを活用し、国際安全規格に適合したシステムを提供しています。

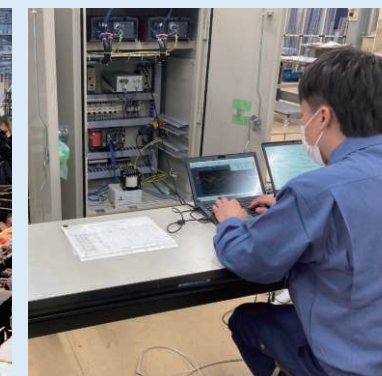
※PLC: Programmable Logic Controllerの略、制御装置

ビジネスフィールド

鉄鋼・非鉄・石油・化学・エネルギー関連のプラントや、公共水道施設、一般産業分野 等

システム技術

- PLCシステム
- ドライブ装置
- 監視制御装置
- ポンプ設備 等
- 製品自動搬送システム
- 高圧ダイレクトインバータ
- 計測制御システム



電源システム



最適な電源ソリューションを提供し、電気の安定供給・省エネに貢献します。

事業内容

受変電設備の特高・高圧受変電システムの更新対応、災害・震災等による停電時において非常用発電設備での電源の確保、IoT・5G時代に対応する無停電電源装置による安定化電源の確保等、電気の安定供給・省エネに対し、八洲の電源ソリューションでお応えします。

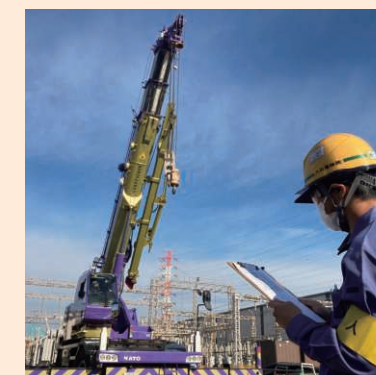
また、長年培った電源システムを活用し、再生可能エネルギーを有効活用した太陽光発電・マイクロ水力発電等を提供して、お客様のカーボンニュートラルやBCP対応等の社会貢献活動を支援しています。

ビジネスフィールド

化学・医薬品・紙パルプ関連の工場、鉄道施設、ビル・商業施設 等

システム技術

- 特高・高圧受変電設備
- 自家発電設備
- 無停電電源装置
- 電気通信設備
- 配電設備
- 鉄道直流変電設備
- 再生可能エネルギー
- 電力監視制御システム 等



空調システム



安全・安心・信頼の確保・推進により、クリーンで快適な環境をお届けします。

事業内容

一般空調設備、低温設備、清浄度・温湿度・室圧を制御したバイオセーフティシステム等の特殊空調設備、工場向けのユーティリティ等の冷熱源設備・圧縮空気設備を提供しています。設置後は、点検整備修理、定期的な部品交換等の保守サービスを実施し、更新計画の提案を行うことで、設備の事故・故障を未然に防ぎます。

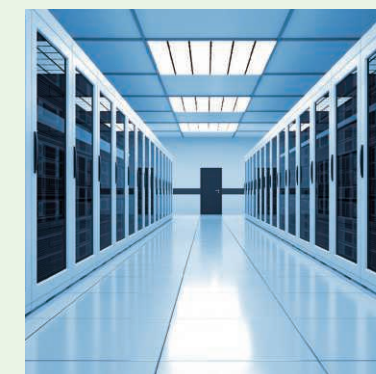
また、新型コロナウイルスの感染症対策として、医療・介護施設等に可動式陰圧ブースユニットを提供し、感染拡大防止に貢献しています。

ビジネスフィールド

病院・介護施設・大学・研究施設・工場・データセンター・鉄道施設・ビル・商業施設 等

システム技術

- 一般空調設備
- 冷蔵・冷凍室の低温設備
- 清浄度・温湿度・空圧を制御したバイオセーフティシステム等の特殊空調設備
- 冷熱源設備・圧縮空気設備 等



The Power of YASHIMA

八洲電機の強み

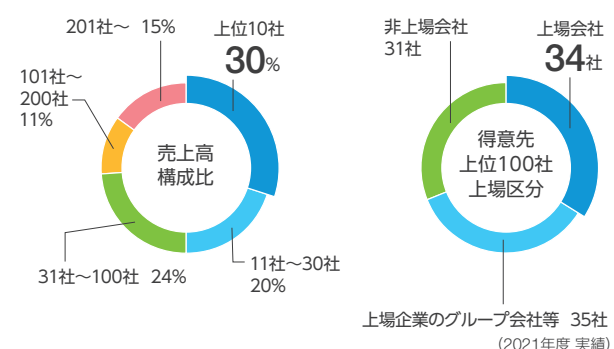
コア技術を活用し、当社のエンジニアリング力で、大手企業をはじめとした3,000社を超えるお客様の環境・省エネ等のニーズにお応えし、様々なソリューションを提供しています。

また、当社のビジネススタイルであるコーポレートインで、迅速丁寧にお客様をサポートしてまいります。

お客様基盤

鉄鋼、石油、医薬品、紙パルプ、鉄道等の様々な業種、3,000社を超えるお客様と取引をしています。

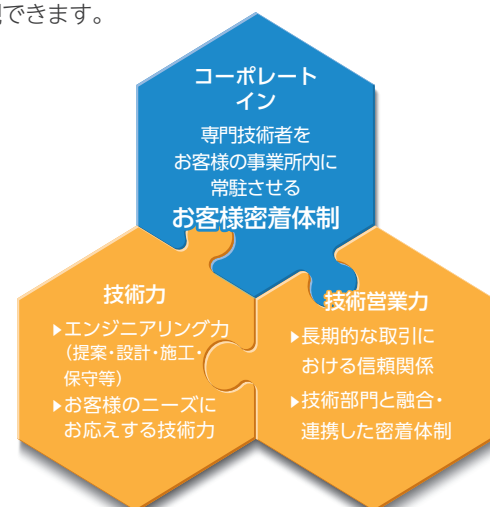
創業以来、実績と信用を積み重ね、多数の企業のお客様と継続的な取引をしています。



コーポレートイン

専門技術者を常駐させ、お客様目線で最適なソリューションを提供します。

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



コア技術

3つのコア技術で、お客様の多様なニーズにお応えします。

「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術を八洲ブランドとして確立し、「安全」「安心」等を社会に提供します。

さらに、コア技術を「技術ソリューション力」等で横断的に進化・融合し、最適なソリューションを提供します。



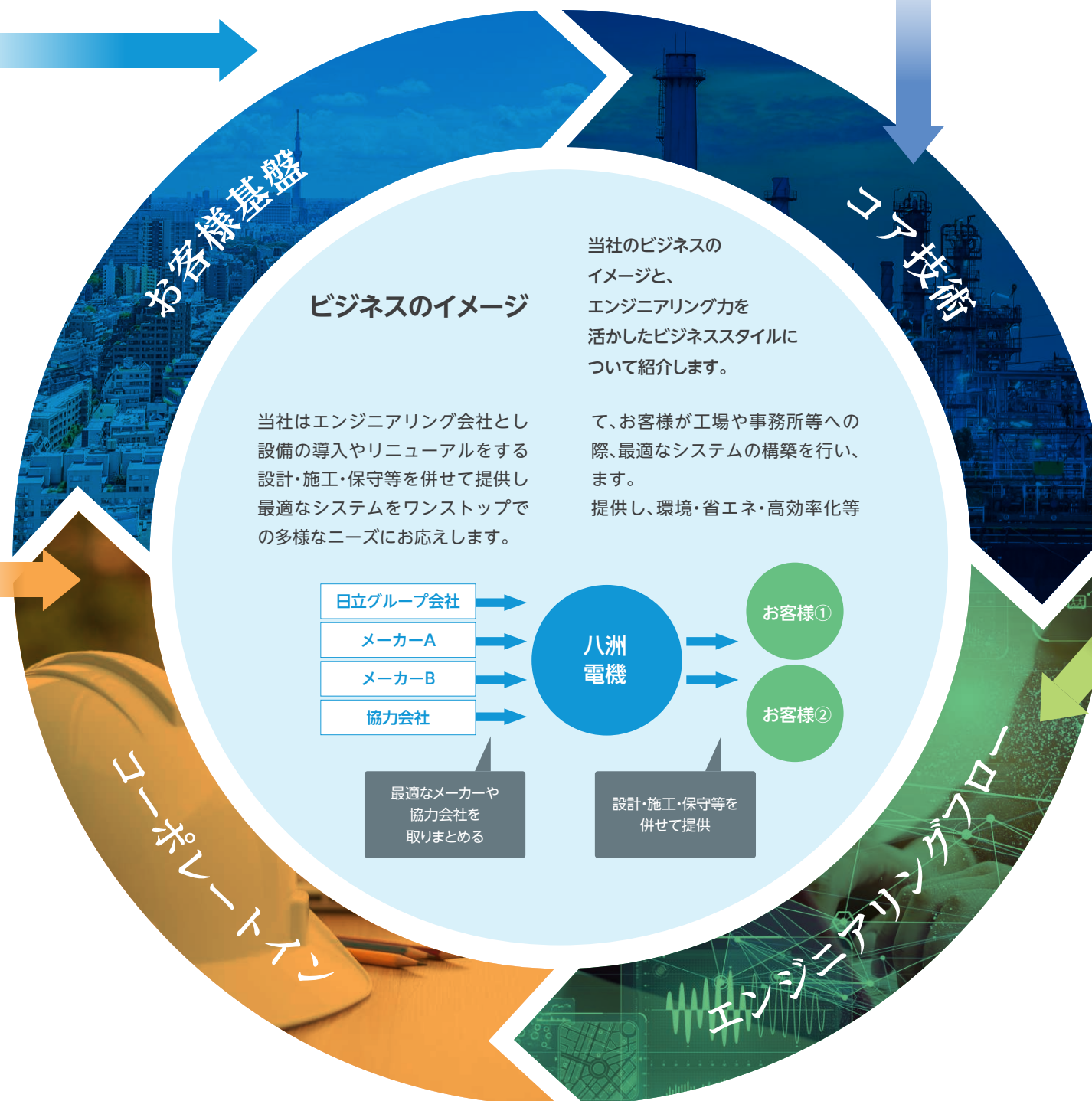
八洲ブランド ～3コア技術～

電機制御システム	電源システム	空調システム
最先端の技術で生産性向上に貢献する	電気の安定供給・省エネに貢献する	クリーンで快適な環境をお届けする
技術ソリューション力 ▶ コア技術を進化・融合し問題を解決する。		
プロジェクトマネジメント力 ▶ 案件ごとに取りまとめを行う。		
総合エンジニアリング力 ▶ 設計・調達・工事等を連携させ提供する。		
アライアンス構築力 ▶ 日立グループや、最適なパートナーと協業し提供する。		

エンジニアリングフロー

様々な産業のお客様に一貫したサービスを提供します。

製品を販売するだけではなく、コア技術とともに、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供します。



セグメント

八洲電機グループはソリューション・エンジニアリング力の強化にさらに注力し、2022年度より3つのセグメントでお客様の多様なニーズにお応えしてまいります。



PLANT
プラント事業

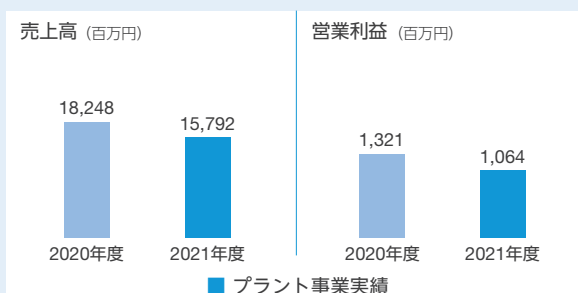
鉄鋼・エネルギー等のプラント分野にエンジニアリングで貢献

事業内容

鉄鋼・非鉄金属業界への圧延ラインやプロセスラインにおける受変電設備・PLCシステム・ドライブシステムを柱とした各種電機制御システムの構築、お客様のカーボンニュートラル実現に向けた環境配慮型製品、各種ソリューションを提供しています。石油・化学・ガス業界に対し、よりハイレベルな安全・安定・高効率の操業を実現するため、各種機械設備、発電・受配電設備等の強電分野から、電気計装、監視制御などの弱電分野に至るまで、幅広いニーズにお応えしています。

主要取扱製品

電機制御、発電設備、電源設備、生産管理システム、省エネ・環境技術を活用したグリーン製品、これらに関わる保守・メンテナンス 等



INDUSTRY & Facility
産業・設備事業

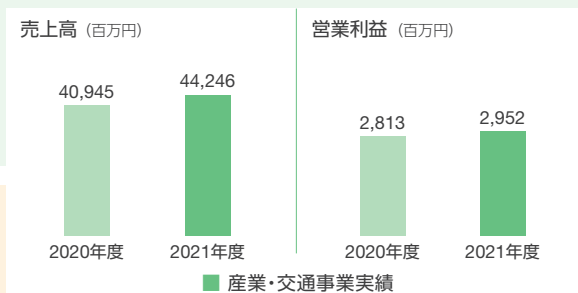
化学・医薬品・紙パルプ・精密機器・建築・公共工事等の幅広い業界に貢献

事業内容

化学・医薬品・紙パルプ・精密機器製造業への受変電設備、空圧設備、空調・冷熱設備等のユーティリティ設備、産業機器全般及び情報・環境製品・システムを提供しています。通信・データセンター事業者への大規模サーバー設備用冷却装置の提供、公共社会インフラ施設への設備機器・システムを提供しています。ビル・店舗建設業への業務用空調機やLED照明の提供等、幅広いお客様へサービスを提供し持続可能な社会の実現に貢献しています。

主要取扱製品

空調設備、照明設備、受変電システム、セキュリティシステム、これらに関わる保守・メンテナンス 等



2022年度より産業・交通事業を産業・設備事業と交通事業へ変更しております。



Transportation
交通事業

鉄道の「安全」「安心」「快適」を支えるインフラの構築・整備に貢献

事業内容

鉄道の安全・安定輸送、サービスを支える車両や設備等の提供からアフターサービスまで幅広く対応しており、プレエンジニアリングから設計・製作・施工・試運転・保守サービスまで一貫して提供しています。また、鉄道事業者が運営している各種事業（不動産・ホテル・流通・福祉等）に、設備機器、情報・環境製品等を提供しています。

主要取扱製品

車両及び車両電気品、車両改造、受変電システム、信号システム、駅設備、車両基地設備、情報システム、これらに関わる保守・メンテナンス 等

中期経営計画(2020～2024年度)について

当社グループは、2020年度から取組んでいる中期経営計画において、更なる「事業規模の拡大」と「収益力の向上」を実現するための成長戦略を策定し活動してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響等により、経済活動が改善するまでには一定の期間を要すると見込まれます。

このような中、当社グループは中期経営計画の見直しを行い、計画を実現するための「基本戦略」に加え、集中して取組む「重点戦略」を新たに策定し、更なる成長戦略を推進してまいります。

ビジョン

高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、付加価値の高い技術・サービスを提供し、

お客様とともに未来を創る。

基本戦略

- ① 八洲独自の「エンジニアリング会社」の推進を図る。
- ② ビジネスパートナーの拡大及び新規商材を創出し事業規模の拡大を図る。
- ③ M&Aを実施しエンジニアリング力の強化及び事業規模の拡大安定を図る。
- ④ 八洲電機グループ力強化によるビジネスチャンスの拡大を図る。
- ⑤ ワークスタイル変革により生産性の向上を図る。
- ⑥ コンプライアンス及びCSR活動を推進する。

重点戦略

- ① 顧客戦略：顧客の投資に対しエンジニアリングで貢献し「収益の拡大」を図る。
- ② 地域戦略：顧客の戦略投資エリアの攻略をし「事業規模の拡大」を図る。
- ③ グループ戦略：総合エンジニアリングの創出による「収益の拡大」を図る。
- ④ コストマネジメント戦略：エンジニアリングを中心としたコスト最適化による「収益の拡大」を図る。
- ⑤ ● 営業戦略：新たな販売・製品パートナー創出による「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。
● 技術戦略：コア技術を時代の変化に適応・成長させ「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。

目標値 2024年度(2025年3月期)

連結売上高 **700** 億円、連結経常利益 **35** 億円、経常利益率 **5.0** %

グループ会社とともに最適なソリューションを提供いたします。



八洲ファシリティサービス株式会社

八洲ファシリティサービス(株)は、空調関連製品(空調機・冷凍機等)及び産業機器製品(空気圧縮機・ポンプ・クレーン等)のメンテナンス(修理・保守・整備等)を主体に、産業機器設備についてはリニューアル工事までをトータル的に請け負うサービス会社です。

設立以来、46年にわたり培った高度な技術力をベースに現在では東京都(荒川区)、神奈川県(厚木市)、栃木県(宇都宮市)の3拠点と埼玉県(川口市)のメンテナンスステーションを活用しながら、首都圏一円のお客様の大切な資産でありますビル、工場設備の維持管理並びにさらなる省エネ化に向けたサポートをしております。

これからも引き続き、お客様第一の立場でさらなる高品質で付加価値の高いサービスの提供を目指してまいります。



空調機 (パッケージエアコン)



八洲産機システム株式会社

八洲産機システム(株)は、市場の変化に対応した産機製品・サービス・工事業をより進化させ、環境配慮型社会へ貢献しております。

また、(株)日立産機システムの特約店として、主にドライブシステム・空圧システム・受配電システムなど各種産業電機機器の販売から、IoTを活用した設備・装置の運用・保守を最適化するLCMサービスや、生産システムの運用・制御を最適化するPACシステムに加え、省人化・自動化ニーズに対応するデジタルソリューションの提案をお客様視点でのフルサポートで実現いたします。



産業電機機器製品



八洲EIテクノロジー株式会社

八洲EIテクノロジー(株)は、2022年4月1日付で「八洲環境エンジニアリング(株)」を存続会社として、「八洲情報システム(株)」と合併し、新たにスタートしました。

当社は、「環境技術」による、オフィス等の一般給排水衛生設備・空調換気設備からクリーンルーム、環境試験設備等の特殊空調、さらに冷凍・冷蔵設備の提供、並びに「情報技術」による、設備や機器からの情報を収集する中央監視制御システム、入退室管理システム等のセキュリティシステムを提供しています。

これらを融合させ、工事・保守のみならず、より高度な運用・データ分析・管理・運転制御等を含めたワンストップのサービスを展開しております。

これからも、お客様に心から満足していただける製品やシステムの提案により、さらなるトータルソリューションを提供し、環境配慮型社会の構築へ貢献してまいります。



株式会社中国パワースystem

(株)中国パワースystemは、1988年2月の創業以来、中国電力(株)様及びそのグループ各社様に、火力、水力発電設備・受変電設備機器の販売及びサービスを展開しております。メーカーと一体となった営業活動を通じて、中国電力(株)様の経済的で安定的な電力事業に貢献しております。

電力事業が大きな変革期を迎えている中、新規事業、新分野等に対して八洲電機グループと連携を図り、取組んでまいります。



株式会社西日本パワースystem

(株)西日本パワースystemは、2019年4月に営業を開始いたしました。九州地区にて水力発電設備機器の販売及びサービスを中心に営業活動を行い、お客様にとって最適なソリューションを提供いたします。



八洲プラント建設株式会社

2021年7月に(株)三陽プラント建設より社名変更いたしました。これからも、65年にわたる経験を活かし、「交通システム分野」をはじめ「変電設備」「鉄鋼・石油プラント」「公共施設」等において、専門的な技術と習得したノウハウをもって、電気・機械設備工事の設計から施工までを展開し、総合技術力でお客様に満足いただける確かな品質を提供してまいります。また2021年7月には新社屋が竣工し、オフィス環境の整備を通じ、生産性向上と働き方改革に取り組んでおります。

新しい環境のもと、新たな働き方を創造し、事業拡大と生産性の向上を図ってまいります。



八洲プラント建設 新本社



八洲制御システム株式会社

八洲制御システム(株)は制御盤の設計・製造及び販売・メンテナンスを通して社会に貢献し、業歴48年目を迎えました。

当社は幅広い業界への納入実績と、長年培ってきた「高度な電気・計装技術」、また「設計」「製缶・塗装」「組立」「検査」の一貫生産体制を強みに、多岐にわたるお客様のニーズにお応えし、より付加価値のある制御盤を提供してまいりました。

さらなる生産効率向上を目的として2021年5月に新工場を竣工し、同年10月には別々であった組立検査工場と製缶・塗装工場を移転集約することで、新工場での一貫した製作が可能となり、品質・生産効率・業務効率を向上させて、より多くの顧客ニーズに合わせた制御盤製作を行えるよう体制強化を進めております。

八洲電機グループ唯一のメーカーとして安全遵守と品質管理に努めるとともに、創業時からの「信頼(CS)と技術に生きる」という顧客第一主義の方針に沿ったより良いサービスを提供し、技術者集団として信頼強化に努めてまいります。



新本社工場 全景



脱脂処理設備



トラバーサ



粉体塗装用ブース

プラント事業

人々の生活を支える天然ガス開発事業 生活インフラであるプラントの安定運用に貢献

Plant Business

プラント業界において、製品の安定供給は最重要使命です。特に生活インフラを担うガスプラントは365日の安定運用が求められます。関東天然瓦斯開発株式会社様の案件では重要拠点である吉橋プラント（千葉県八千代市）において制御システムの更新を含む7つの工事を同時進行で行いました。技術力を駆使した制御システムの更新に加えて、数多くの施工会社等を調整するコーディネート力を発揮しました。

導入事例のご紹介

関東天然瓦斯開発株式会社 吉橋プラント様



関東天然瓦斯開発株式会社 吉橋プラント
工務部 電気グループ 計装チーム 主務 中村 裕二様(左から)
リーダー 伊藤 輝夫様
鉱業部 熱調グループ マネージャー 君官 正志様
リーダー 阿井 浩様

吉橋プラントの役割と制御システム更新工事発注にあたってのポイントをお聞かせください。

当社は1931年に創業し、天然ガスの開発からガス供給までをグループ内で一貫して行う、日本で最も歴史のある天然ガス事業会社で、生産量は国内3位です。

吉橋プラントは、生活に不可欠な都市ガスの生産拠点であり、日夜プラントの管理・監視業務を365日行っている重要拠点で、千葉県内で産出された天然ガスをパイプラインで受け入れ、これにLPG(ブタン)を混合させ、熱量を調整し、都市ガス用として近隣のガス事業者へ送っています。このプラントの各設備と制御システム(DCS)を八洲電機さんに納入から点検整備・保守・更新・緊急対応までをワンストップで請け負ってもらっています。

今回の案件では、10年に一度のDCS更新工事にあたり、各社からDCS更新提案がありましたが、短い工期でプラント全体を取り纏める技術力と総合力により、DCS更新工事に加えて計7つの付帯工事を八洲電機さんにお願しました。

八洲電機の対応についてご評価ください。

八洲電機さんは当プラントの建設から携わり、プラントと

その運用を熟知されています。また、施設更新後のテスト時間も短く、その後のメンテナンスも含めて安心してお任せできました。

今回は7つの工事を同時並行で行うため、数多くの施工会社等との連携が必要でしたが、八洲電機さんにすべてコーディネートいただき、無事に工期内で作業の完了が実現できました。また更新工事を通じて、タブレット端末を導入したことでガスの流入出量を現場でも確認できるようになり、現場作業が効率化したことに加え、老朽化した熱量計を新型に更新し、操作性向上や省エネ化とランニングコストの低減ができたことも社内でも好評です。

当プラントにおいて、「故障しない」ことが、安定運用のみならず、省エネ・地球温暖化防止にも直結します。これは熱量調整システムの起動時に一定量のガスを放出する必要があるため、トラブルや故障で再起動をすると温室効果ガスの放出量が増えてしまうためです。今回の熱量計の更新もガス放出を最小限にコントロールするための重要施策でした。「故障しないプラント」を実現する、ひいては温室効果ガス排出を削減するために、八洲電機グループさんにはメンテナンスを含む日々の安定運用のための相談に引き続き対応いただければと思います。

今後の取組みテーマと八洲電機グループへの期待をお聞かせください。

当プラントにおいてDXへの本格的な取組みはこれからになります。ガスの異常検知や工場と本社データの連携について効率化・高度化する仕組みなど、ぜひ八洲電機グループさんの知見をご提供いただければと思います。当社の天然ガスは「千(葉)産千(葉)消」のクリーンエネルギーとして今後も重要な役割を担うと認識しています。八洲電機グループさんにはプラントの安定運用、温室効果ガス排出の抑制、DX化などをテーマに、最新テクノロジーの提案・提供を期待しています。



DCS (監視制御システム)

産業・設備事業

高度な技術とシステムで大型物流施設における 施工の省力化・スマート化を実現

Industry and Facility Business

産業界では、大型施設等において省エネ等の最新システムの搭載ニーズが高まる中、建設コストの抑制も踏まえた、より高度な施工技術・管理が必要となっています。日比谷総合設備株式会社様の案件では、大型物流施設への空調設備を納入するにあたり、自動制御技術や施工の省力化やスマート化とともに、トータルな観点からの原価低減にも貢献しました。

導入事例のご紹介

日比谷総合設備株式会社様 貴社事業と八洲電機との取引について 教えてください。

当社は、空調・衛生・電気・情報通信の4分野を核とする総合エンジニアリング企業です。高度な品質が求められるデータセンター等では診断から設計、施工、施工後のサポートまでワンストップサービスを提供する一方、リニューアル工事では長年NTTグループ様の設備関連業務で培った施工技術を発揮するなど、品質と信頼でお客様より高い評価をいただいています。八洲電機さんには古くからNTTグループ様の案件でご協力いただいてきましたが、今回昨年着工した延床面積48,000坪超の大型物流施設に空調設備を納入いただくことになり、新たな協働ステージがスタートしました。

八洲電機の対応についてご評価ください。

今回の大型物流施設の空調機器は、八洲電機さんに対応していただきました。機器や設計に変更が生じましたが、システム変更後の施工に関するメリットについて、非常にきめ細やかな説明資料と最適なお提案を、短期間で迅速にご準備いただき、施工スケジュールへの影響もなく2022年9月竣工に向け工事を進めています。

今回の案件では、外気処理ユニットの新製品開発等のご提案をいただき設置問題の解消と施工性が向上し、加えて、各装置数の削減や配線の整理、施工自由度のアップ等のご提案が、施工の省力化やスマート化につながり、コストの抑制も実現していただきました。

また、コロナ禍において機器の納期遅延が発生したメーカーも多い中、空調機器を確実に納入いただくことで、スムーズな工事進行に寄与しています。環境対応や設備のスペックを落とすことなく、施工に配慮した八洲電機さんの対応力への信頼から、既に全国レベルで当社の大型案件における八洲電機さんとの協働を加速しています。



日比谷総合設備株式会社
購買部 部長 谷口 豊人様(右)
購買部 課長 齋藤 真由様(左)

今後の取組みテーマと八洲電機グループへの期待をお聞かせください。

八洲電機さんは一般空調設備に留まらず、グループ会社を通じて実績のあるクリーンルームや医療関連設備等の特殊空調の設計・施工にも実績があり、今後は幅広い分野でご協力いただければと思います。

また、当社はグリーンエンジニアリングを目指して省エネ・CO₂削減など、脱炭素社会の実現に向けた事業に取組み、特に建物の改修時におけるZEB*化を推進しています。さらにニューノーマル社会を見据えた街づくりなど、様々な可能性を探りながら当社の事業領域を拡大していきたいと考えています。そのためには様々なアライアンスを通じた技術開発やDX化が必要と認識しています。八洲電機グループさんとは今後も末永く良好な関係を継続させていきたいと思っています。引き続き最新技術やエンジニアリング力を駆使した、より良いご提案をいただけることを期待しています。

*ZEB: Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

産業・設備事業

生産現場での高レベルな品質管理をサポートし、安全性を備えたクリーンな容器の安定供給を実現

Industry and
Facility
Business

産業界では、安全・安心への高い顧客ニーズから品質管理のさらなる高度化が求められています。岐阜・大成化工株式会社様の案件では、岐阜工場の新築に伴う特殊空調施設を納入するにあたり、クリーンな環境でのモノづくりを実現する計画提案・詳細設計・施工管理などワンストップでサービスを提供しました。

導入事例のご紹介

岐阜・大成化工株式会社様



大成化工株式会社 取締役 専務執行役員 小野 和幸様(中央)
岐阜・大成化工株式会社 執行役員 岐阜工場 工場長 宮原 隆様(左)
岐阜工場 設備管理グループ 井戸 勝様(右)

岐阜工場における特殊空調施設について重要視された点をお聞かせください。

当社は医薬品用を中心とした容器メーカーである、大成化工株式会社から1984年に岐阜・大成化工株式会社として分離・設立しました。その中でも主力の岐阜工場では、固形製剤や目薬などの無菌製剤容器を製造しています。当工場のような医薬品関連製品の製造現場では、定められた品質規格に適合することを確認するだけでなく、製造する過程についても適切に管理し、品質の良い優れた医薬品関連製品を恒常的に製造することが求められています。

今回の当工場の新築工事では、「清潔な環境のもとに造る」という当社のモノづくりの基本方針の下、高い環境清浄度を実現するため、製造用空調クリーンルーム、ユーティリティ設備等の特殊空調施設を納入いただきました。

岐阜・大成化工株式会社 岐阜工場

八洲E Iテクノロジーの対応についてご評価ください。

今回の工事では、最もクリーンな環境であることが求められる検査室から成形室、そして一般室へと空気を流すための気流制御システムや室用途に合わせて個別に室圧コントロールのできる室圧制御システムを設計いただきました。また、清浄度を高めるため、導入した空調機すべてに通常のフィルターでは取り切れない、より細かい塵埃などを捕集するフィルターを設置し、屋外からの害虫等の異物混入対策として、製造室フロア、検査室フロアの空調機の吹き出し部分にはHEPAフィルターを設置いただくなど、当工場のモノづくりと高い品質管理を十分に理解する八洲E Iテクノロジーさんだからこそ対応いただけたと思います。

一部の設備において、バックアップ機能を組み込んだ予備機を納入いただいたのも、当工場から製薬メーカー様への容器納入遅滞を防ぐというBCPの観点からの配慮です。

さらに、人やモノの動線を考慮した空調施設の配置提案や、今回初めて実施した空気の流れで埃が溜まりやすい場所を「見える化」する気流解析、完成イメージを具現化するための図面の3D化によるプレゼンとはとても分かりやすいものでした。

加えて今回の工事では、エネルギー消費効率の高い空調機やユーティリティ設備にインバーター方式を採用し、省エネ化にも推進いただきました。工事開始後は事業所内に常駐して仕様変更にも柔軟に対応いただき、建築会社等との連携でコロナ禍においても工期に影響が及ばなかったことにも感謝しています。

今後の取組みテーマと八洲電機グループへの期待をお聞かせください。

今後も岐阜工場では、さらなる異物混入対策として目視検査を自動化するなど「人を関与させない」、そして廃棄物を減らすために「不良品を出さない」モノづくりを追求し、医薬品包装容器にバイオマス原料を用いるなど、環境に配慮した技術開発、事業を通じたSDGsへの取組みを推進します。八洲電機グループさんにはビジネスパートナーとして今後もグループの知見を活かした環境技術、最新テクノロジーを積極的にご提案いただければと思います。

交通事業

循環型社会の構築に向けて車両をリユース最新技術で大規模改造を実現

Transportation
Business

鉄道業界では、「安全」「安心」「快適」を確保し、環境に配慮した事業運営が加速しています。東武鉄道株式会社様の案件では、北関東地区での車両リニューアルにあたり、車両を大規模に改造してリユースするプロジェクトに携わりました。長年の経験に基づくノウハウと最新技術を駆使し、車両の省エネ化、コスト削減、サービス向上の推進に寄与しました。

導入事例のご紹介

東武鉄道株式会社様

車両の大規模改造に至る経緯と目的をお聞かせください。

東武鉄道は東京、埼玉、千葉、栃木、群馬の1都4県のエリアにまたがっており、沿線距離は関東の私鉄最長の463.3kmになります。この路線の中で、北関東地区を運行している宇都宮線、日光線、鬼怒川線の車両が老朽化しており、車両のリニューアルが必要となっていました。

一方、東武スカイツリーラインと直通運転する東京メトロ日比谷線のホームドア設置に伴い、この路線で使用していた20000系を新造車両に切り替えることになりました。そこで、経年も浅く十分にリユースが可能な20000系車両を北関東地区向けの20400型車両に生まれ変わらせる、大規模な改造プロジェクトを実施しました。

改造プロジェクトにおける八洲電機の対応についてご評価ください。

今回の改造プロジェクトは、大規模かつ非常に複雑な工数がかかることが課題でした。八洲電機さんには、設計施工を含めたプロジェクト全体をコーディネートいただき、成功に導いていただきました。鉄道技術の知見が深い八洲電機さんの尽力なしには完成しなかったと思います。

今回の改造は20000系車両192両から、改造工数が少なく、省エネ効果が高い高効率モーターを搭載している88両

を選別し、20400型車両を完成させました。この生まれ変わった20400型には、お客様自身がボタンで個別扉を開閉できる半自動機能を搭載しましたが、冬の暖房だけではなく夏には冷気が逃げにくく車内が快適であると、お客様からも大変



20400型車両



東武鉄道株式会社 鉄道事業本部 技術統括部 車両部
車両企画 課長 今村 憲司様(左)
車両企画課 課長補佐 間仲 祥司様(右)
車両管理所 主任 泉川 友彦様(中央)

好評をいただいています。また、車両のリユースが環境貢献につながることはもちろん、改造時に高効率モーターだけを残すことで省エネ化を推進しました。さらに、ローカル線での省人化と効率化につながるワンマン運転も実現しています。

今後の取組みテーマと八洲電機グループへの期待をお聞かせください。

安全・安心かつ安定的な鉄道事業の継続という社会的使命を果たすために、八洲電機さんには引き続き多角的にご協力をいただきたいと思います。車両の新造や改造、日々のメンテナンス等の困りごとのご相談、さらにはコロナ禍後の当社の経営資産の適正化に向けて、乗客率等の車上データを有効活用する仕組みづくりについても期待しています。

当社は、浅草と東京スカイツリーのエリアを結ぶ鉄道高架下複合商業施設「東京ミズマチ」の建設など、当社路線と地域の魅力をさらに高める取組み、さらに2023年には観光とカーボンニュートラルを牽引する特急スペーシアの新型車両の導入を予定しています。今後も当社グループの多角的な取組みに対して、八洲電機さんには省エネ、コスト削減、サービス向上に向けてDX等の新技術やアイデアを積極的にいただきながら、互いが中長期的に成長できるよう協力体制を深化させていきたいと思っています。

Corporate Governance

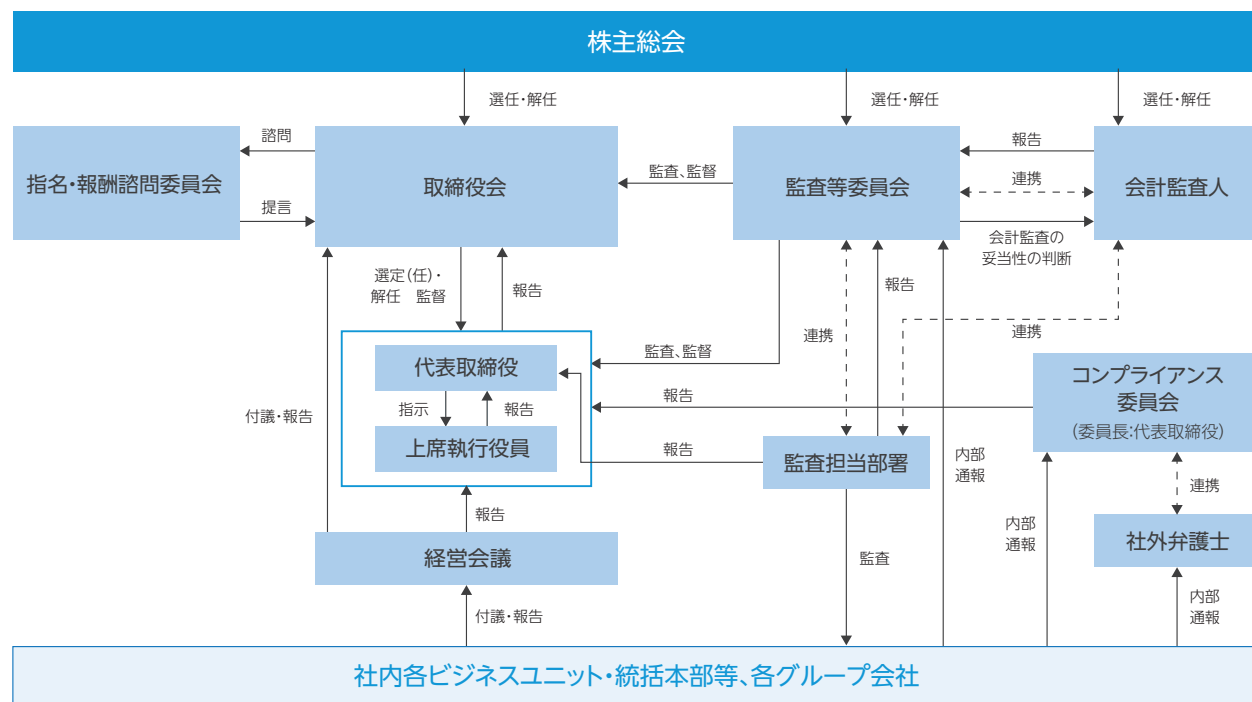
コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、八洲電機グループの持続的な成長と長期的な企業価値の向上を図る観点から、公正かつ透明な企業活動を行うことを経営の基本とし、この方針を支えるコーポレート・ガバナンスの重要性を充分認識し、経営の公正性・透明性を確保するとともに、迅速な意思決定の維持・向上に努めています。

当社は、実効性のあるコーポレート・ガバナンス体制として権限と責任を明確にした意思決定とこれを監視、評価する体制を整備し、より良いコーポレート・ガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組みます。

当社のコーポレート・ガバナンス体制

2022年4月1日現在



コーポレート・ガバナンスについて

当社は、株主価値の持続的な向上を図り、ステークホルダーに対する社会的な責任を果たしていくために、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。また、「透明性の確保」「意思決定の迅速化」「企業倫

理・法令等遵守体制の充実」「内部統制の強化」の他に、「情報開示」「説明責任」などの諸施策の取組みを強化し、さらなるコーポレート・ガバナンスの進化に努めてまいります。

マネージメントについて

当社取締役は、客観性及び透明性を高めるために指名・報酬諮問委員会の審議及び助言・提言を踏まえ、優れた人格、見識、能力及び豊富な経験とともに高い倫

理観を有しており、的確かつ迅速な意思決定が実施できる者を、取締役会により総合的に判断したうえで指名しています。そのメンバーについては、経営、営業、技

術、財務・会計、法律等の専門性や異なるバックグラウンド・経験等を考慮し、取締役会全体としての多様性及びバランスが確保されるよう努めています。なお、

2021年のコーポレート・ガバナンス・コード改訂に伴い、当社取締役のスキル・マトリックスをコーポレート・ガバナンスに関する報告書にて公表しています。

内部統制システムの整備と体制

業務執行を適正かつ健全に行うために、取締役会が実効性ある内部統制システムの構築と法令等遵守の体制を確立しています。また、監査等委員会は内部統制システムの有効性及び機能を監査しています。

代表取締役直轄で、業務執行部門から独立した監査担当部署を本社内に設置し、グループ会社も含めて各部門に対して内部監査を実施し、内部統制の有効性を評価・確保しています。

内部監査は、代表取締役の承認を得た年間計画に基づいて実施され、個々の内部監査の結果は、速やかに代表取締役と監査等委員会に直接報告されるほか、取締役会や経営会議においても報告されます。また監査担当部署は、各部門より監査結果に対する改善策の報告を受領し、改善策が適切に行われているか定期的にフォローしています。

輸出管理の体制及び取組み

当社は、継続的に輸出管理の強化、そしてさらなる改善を図るために代表取締役を最高責任者とする輸出管理体制を構築し、「安全保障輸出管理規程」を定め、「外国為替及び外国貿易法」などを含む法令に基づいた厳格な管理及びリスクに対する取引審査や出荷管理、在庫管理などを実施しています。その管理はグ

ループ会社も対象としています。

また、当社及びグループ会社も含めて、適正な輸出入や通関手続きを実施するため、法改正の周知、輸出管理に関する研修等を実施し、コンプライアンスの徹底を図っています。

通報・相談窓口の整備

当社は、八洲電機グループの「行動規範」に反する行為があること又はそのおそれがある行為に従業員が知り得た場合に、先ず上長に報告・相談することを基本としています。

しかし、このような報告・相談が難しい場合や適さない場合、問題等をより早期に発見し必要な対策を実施するために、八洲電機グループの共通窓口としてコンプライアンス担当部門、監査等委員会及び社外で当社の顧問でない独立した法律事務所の合計3ヶ所に「ホットライン」を設置し、従業員だけでなく、八洲電機グループのステーク

ホルダーが通報・相談しやすい環境を整備しています。

ホットラインへの通報・相談については、「内部通報規程」において通報者・調査協力者の保護について具体的に定めており、同規程に従って、当該案件の関係者すべてのプライバシー保護に十分配慮した調査を行ったうえで、必要な是正・勧告などの対応を行います。調査結果は、取締役会や経営会議に報告し問題の解決や再発防止につなげています。

今後も改正公益通報者保護法の趣旨を踏まえ、ホットライン制度の改善努力を不断に継続してまいります。

コンプライアンスの徹底に向けた啓発・教育

健全な企業活動を推進していくためには、法令や社内ルールを遵守するとともに、当社グループに対する社会的な責任を果たしていくことが求められています。

当社は、毎年、グループ会社を含めた従業員などを対象として、コンプライアンス研修を行っています。

また、四半期ごとにケーススタディを掲載したコンプライアンス・ニュースの発行、年1回には、グループ会社を含めた全従業員を対象にコンプライアンス浸透度調査を実施し、全社的なコンプライアンス意識の醸成・強化を図っています。

コーポレート・ガバナンスに関する報告書は下記の当社HPよりご覧ください

<https://www.yashimadenki.co.jp/ir/policy/governance.html>

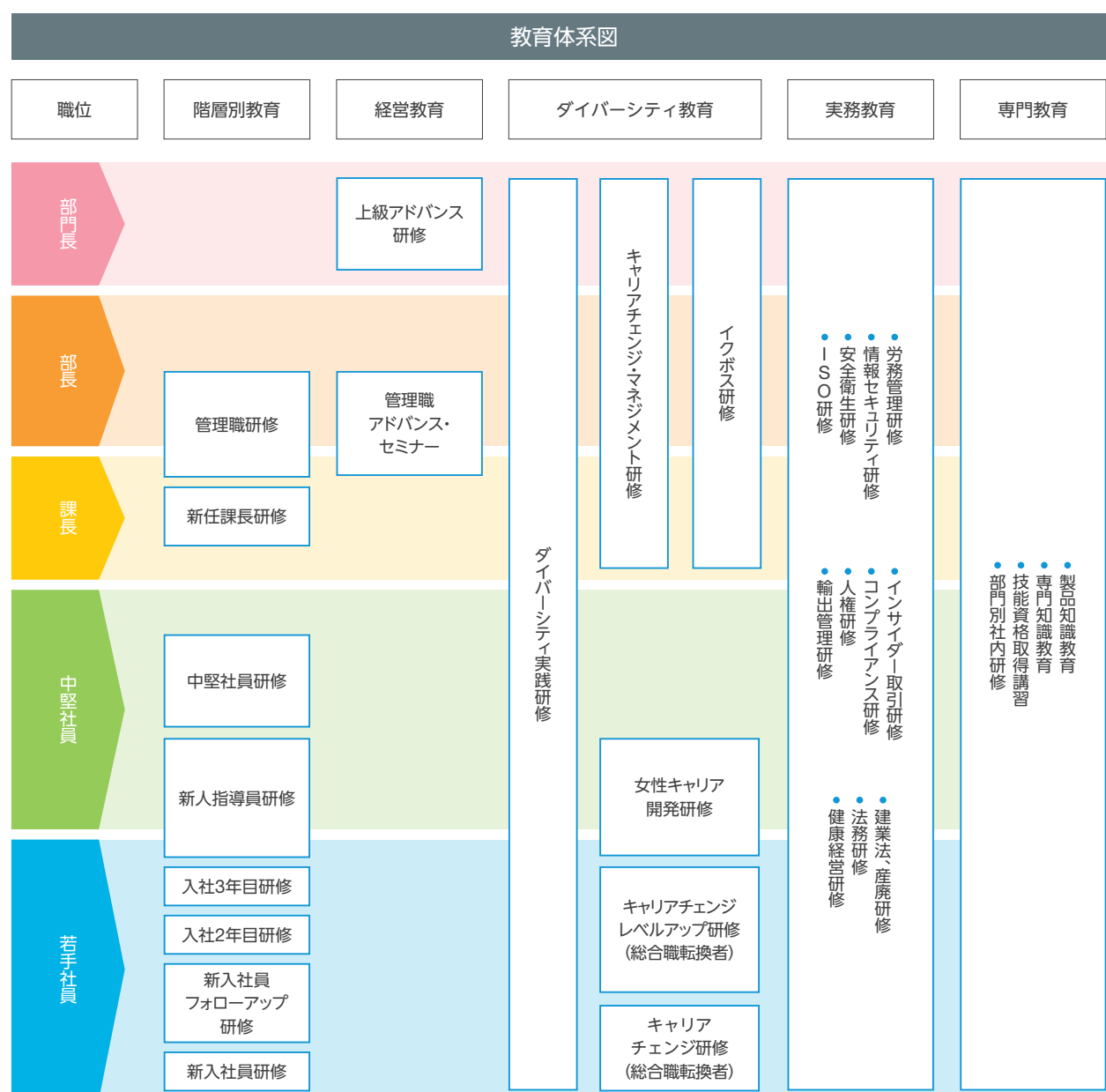
Human Resources

八洲電機における人財育成の考え

八洲電機では、人財こそ成長への原動力であると位置づけています。「創造」・「挑戦」・「協力」、この3つを「求める人財ビジョン」として教育を行っています。

研修制度

八洲電機では社員の能力向上を目的として、階層別教育や専門教育等様々な研修制度を実施しています。



Diversity & Inclusion

「ダイバーシティ＆インクルージョン」について

当社のダイバーシティ＆インクルージョンは、社員の数だけ存在する多様性が尊重される職場で、一人ひとりが能力を最大限に発揮し、生産性の向上につなげていくことを目的としています。

働き方改革 ～働きやすい環境づくり、制度・しくみ～

働き方改革へのあらゆる取組みを通じて、どのような境遇の社員でも効率的かつ働きがいのある職場づくりを実現し、社員、会社、社会が発展・成長し続けていくことを目指します。

ワークライフバランス

- 所定休日の拡大
- 年末年始休日の拡大
- 年次有給休暇の付与日数拡大
- 積立年休制度
- ジョブリターン制度

処遇改善

- 育児休業早期繰上げ手当

環境整備

- シンククライアント(モバイルPC)
+スマートフォン支給
- フリーアドレス
- サテライトオフィス

長時間労働の是正

- 全館20:30完全消灯
- 勤務間インターバル制度

柔軟な働き方

- スーパーフレックスタイム制度
- 直行直帰奨励
- 在宅勤務

キャリア形成

- 総合職への転換推奨
- キャリアチェンジ研修の実施

ダイバーシティ推進プロジェクト

本プロジェクトでは、2020年度に策定した「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画」に基づいた取組みの進捗確認、ヒアリング、分析、問題解決、次年度の取組み策定等の活動を行っています。

この行動計画の下、女性活躍フィールドの一層の拡大を進めていきます。



【女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画】

期 間	2021年4月1日～2026年3月31日(5年間)
目標1	総合職の採用(新卒・中途)の女性割合を50%にする
目標2	柔軟な働き方に資する制度の利用実績を80%以上にする 「フレックスタイム・在宅勤務・直行直帰・サテライトオフィス」の制度・しくみを積極的に活用できる職場風土を醸成し、「生産性の向上」と「ワークライフバランス」の促進を図る
目標3	管理職の女性の人数を2020年度時点より2倍にする

女性活躍推進ネットワークミーティング

ダイバーシティ推進の一環である「女性活躍推進」にスポットをあて、女性がやりがいをもって長期にわたり働くことができる職場環境づくりのため、3つのグループで「女性活躍推進ネットワークミーティング」を開催しています。



関連するSDGs
ターゲット



Health Management

『健康経営宣言』について

当社では、これまで従業員と家族の健康保持・増進のため、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策等の各種施策に取り組んでまいりました。

より一層この取組みを強化するとともに「働き方改革」や「ダイバーシティマネジメント」と連携しながら「健康経営」を推進するため、「八洲グループ健康経営宣言」を制定し、以下の重点施策に取り組んでまいります。

『健康経営宣言』

当社は、「社会に信用・信頼される会社」「社会に奉仕する会社」「社会に協力・協調する会社」（「信・愛・和」）を経営理念に、経営ビジョンである「クオリティーの高いサービスを通じお客様とともに価値を創造するベストプランナー」として環境配慮型社会に貢献する」ため、従業員が健康であること、そして健康的に働くことが、重要な経営課題であるととらえています。

従業員の健康を積極的に支援する健康経営の推進を通じて、組織の活性化や生産性の向上を図り、その先にある社会に貢献することを宣言します。

健康経営推進責任者 代表取締役社長 太田 明夫

健康経営の取組み



健康経営優良法人2022認定

経済産業省と日本健康会議が選定する健康経営優良法人（ホワイト500）に2019年～2022年と4年連続で認定されました。



スポーツエールカンパニー2022認定

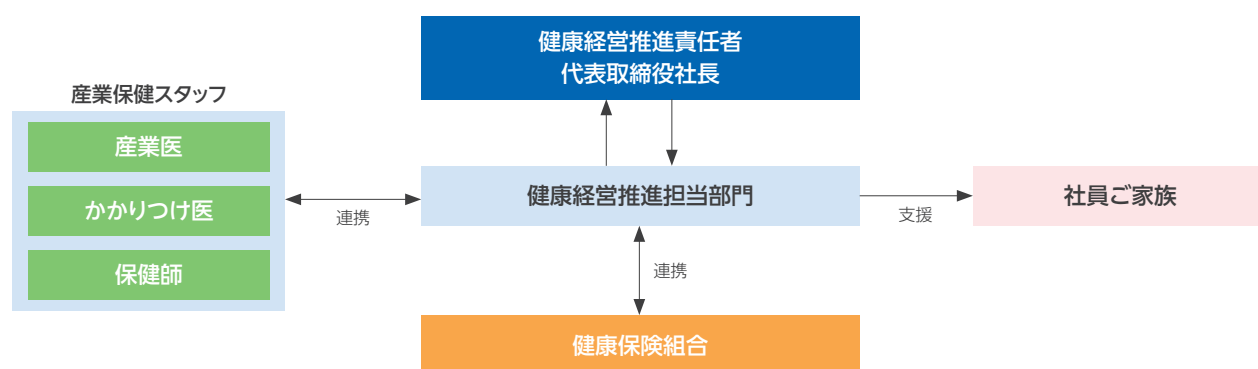
スポーツ庁より、健康増進に向けたスポーツ活動の促進への積極的な取組みが評価され、スポーツエールカンパニーに2021年、2022年と2年連続で認定されました。



健康優良企業金認定

健康企業宣言東京推進協議会より、健康優良企業金に2020年～2022年と3年連続で認定されました。

健康経営推進体制



関連するSDGs
ターゲット



重点施策

職場の健康 ① 年間総労働時間のひとりあたりのさらなる減少 ② 有給休暇取得率のさらなる向上

こころの健康 ① 産業保健スタッフとの談数（産業医・保健師）

からだの健康 ① 健康診断受診率 ② 運動機会の増進（運動習慣率の向上） ③ 喫煙者の減少

重点施策の実績と目標

職場の健康

① 年間総労働時間 ▶ 年間総労働時間のひとりあたりのさらなる減少

	2021年度実績	2022年度目標
年間総労働時間	1,935時間/年	1,890時間/年

② 有給休暇取得率 ▶ 有給休暇取得率のさらなる向上

	2021年度実績	2022年度目標
有給休暇取得率	63.0%	70.0%

こころの健康

① 産業保健スタッフとの談数（産業医・保健師）

	2021年度実績	2022年度目標
ストレスチェック 受診率	96.0%	100%

	2021年度実績	2022年度目標
当社の 産業医・保健師面談者	74名	100名

からだの健康

① 健康診断受診率

その他実績

■ 当社の健康診断実施率 100%（2021年度実績） ■ 当社のBMI適正体重維持者率 55.1%（2020年実績）

② 運動習慣率 ▶ 運動機会の増進（運動習慣率の向上）

	2021年度実績	2022年度目標
当社の運動習慣率	23.9%	27.0%

（1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者の割合）

③ 喫煙率 ▶ 喫煙者の減少

	2021年度実績	2022年度目標
当社の喫煙率	30.7%	24.0%

Environmental Activity Report

サステナビリティ基本方針

八洲電機グループは、経営理念、経営ビジョンに基づき、事業を通じて社会・環境問題の解決にグローバルな視点で取り組み、持続可能な社会を実現するために貢献していきます。

「未来ある社会へ」

1. 社会からの信頼を獲得

私たちは、事業活動、製品、システム及びサービスを提供する中で、法令やルール等を遵守し、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。

2. 地球環境に配慮した製品、システム及びサービスの提供

私たちは、事業活動の上で、省エネルギー化、化学物質管理、生態系への配慮等により、環境保全に優れた製品、システム及びサービスの提供につとめます。

3. 環境問題への取り組み

私たちは、事業活動の中で、省エネルギー化、資源リサイクルの向上等を推進し、自らの企業活動によって生じる直接的な環境負荷の低減に取組みます。

4. 個人の尊重

私たちは、あらゆる企業活動において、個人の権利、多様な価値観を尊重し、不当な差別を排除します。また、社員の能力開発に取組むとともに、心とからだの健康づくりに努め、社員それぞれの働き方を尊重し、ワークライフバランスの実現を推進します。

5. 社員への教育、意識の向上

私たちは、社会・環境リスクを低減するための教育を行い、社員一人ひとりが広く社会に目を向け、積極的な学習を通して、意識の向上を図ります。

6. サステナビリティ推進に向けた目標の設定

私たちは、本方針を実現するために目標を定め、適宜見直ししながら、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションとともに、世の中への積極的な情報開示を行います。

地球温暖化対策

CO₂排出抑制貢献量の実績と計画

2022年度 CO₂排出抑制貢献量

510,000トン (目標)

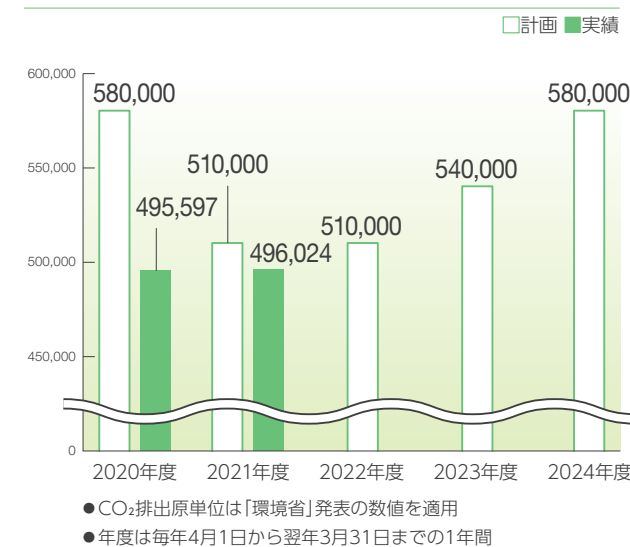
この環境ISOの活動は、お客様に納入する機器製品、システム製品のCO₂排出量を基準年(2005年度)に比べ、2022年度は510,000トン抑制するというものです。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による緊急事態宣言の発令などの影響により、省エネ製品の売上遅延等が発生し、496,024トン(目標に対して97%)となりました。

2022年度は、目標達成に向け省エネ製品・システム製品の開発及びご提案等を積極的に推進し、CO₂排出抑制の貢献に努めてまいります。

再生可能エネルギー使用 CO₂削減実績

2020年4月から八洲電機本社ビルの電力は、CO₂の排出がない再生可能エネルギー（バイオマス燃料）の100%使用を開始しております。2021年度は、289.5トンのCO₂削減を実現しました。

CO₂排出抑制貢献量推移(単位:トン/年)



公益財団法人八洲環境技術振興財団

発足以来247名の研究者に総額約2億円を助成

八洲環境技術振興財団は、2013年に発足以来、大学等の研究機関に従事する環境技術分野における研究者の方々に対して助成事業を行っています。当財団は、次世代研究者の育成支援により、豊かな社会の実現とわが国の産業発展に寄与することを目的としており、これまでに延べ247名の研究者に対して総額1億9,300万円の助成を行いました。

2021年度には、研究開発・調査に対する助成については、28件の計2,800万円と国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の助成については、11件の計190万円をそれぞれ贈呈しております。

また、2021年度も受賞された方々の中から選出した2名に、奨励賞を授与、研究の成果を発表していただくこととしておりました。しかしながら長引くコロナ禍でその発表会を中止とし、記念にクリスタル製盾をお送りいたしました。

【奨励賞】

●秋田大学 技術専門職員 齋藤 憲寿 様
(研究テーマ)

「波エネルギーを利用したIoTセンサーを駆動するための小規模発電装置の開発」

●筑波大学 助教 秋元 祐太郎 様
(研究テーマ)

「水素社会実現のための燃料電池スタックの自動診断制御システムの確立」



奨励賞盾

2021年度 活動報告

一般社団法人広島県管工事業協会主催

広島地区地域清掃活動

当社中国支店では、一般社団法人広島県管工事業協会主催の地域清掃活動に参加しています。2021年度は、3月12日に平和大通り沿いで「地域清掃活動」が実施され、当社と八洲 E I テクノロジー(株)の社員11名が参加しました。



東京都港区芝地区生活安全・環境美化活動推進協議会主催

「路上喫煙ゼロのまち!キャンペーン」

当社は、本社所在地である東京都港区主催の環境美化・保全活動「路上喫煙ゼロのまち!キャンペーン」に2010年度から毎年参加をしています。昨今は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止が続いておりましたが、3月10日に実施され、2年ぶりの参加となりました。



当社は今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、社会貢献活動を推進していきます。